

(様式3) 【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立西田小学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	社会	はたらく人とわたしたちの暮らし	柿農家の方
ねらい	柿農家の人の仕事や育てるための様々な工夫や努力について調べ、ふるさとのよさに気づき、そのよさを発信することができる。		
<p>1 取組の概要</p> <p>出雲市でつくられている主な野菜や果物などについて調べ、平田地区の特産品である柿に焦点を当て、調べたり疑問に思ったことを話し合ったりする。</p> <p>また、柿づくりのためにどのような仕事をしているのかを、西田地区の柿農家に出かけて調べ、紙面にまとめて発信する。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>自分たちの住む地域で平田地区の特産品である柿が育てられていることを知り、おいしい柿を県内外の人に届けるための工夫や努力について直接農家の方に聞くことで、愛情や誇りをもって育てておられる人の姿や、自慢できる農産物が作られていることを実感する。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>農家の方に直接話を聞いたり、栽培の様子を見学したりすることで、柿を育てるために1年を通して計画的に仕事をし、様々な工夫や努力をしていることを理解できるように努めた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容</p> <p>(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>農家を訪ねて直接話を聞いたり設備を見たりすることを通して、柿づくりの大変さや、県内外に誇れるおいしい柿を地域の方が作っておられることを知り、ふるさとのよさを実感すると共に、学習したことを伝えたいという思いを持つことができた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>「ひと」や「もの」との関わりから、疑問や課題を解決していこうとすることができた。また、学習したことを紙面にまとめて発信することで、表現する力を高めることができた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>調べたことを新聞にまとめて掲示することで、校内の児童にも見てもらえるようにした。今後は、タブレットを活用したり、リーフレットを作成して配布したりするなど、地域のよさを広く発信するなどの工夫が必要である。</p>			



※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。

※しまねのふるさと教育ホームページ等に掲載される場合があるため、画像等は必ず承諾を得たものにしてください。